

企業と地域を結ぶ情報コミュニケーション誌

うめナビ

2017.4
Vol.61

「ハッピーダイニング」が合言葉 医療・介護・健康の現場と密着した 食事サービスを ご提供

アルス

アルス(大田区蒲田、梅本高土社長、03・5714・0355)は、平成11年の創業以来、地域の核となる大学病院から高齢者に向けた町の小さな介護施設まで、首都圏を中心に全国へ展開を広げ、常に「これからの給食」を模索しながら提供している会社である。

同社の特長は、病院や介護施設など業態や規模に合わせた適正な食事とサービスを、納得のいく価格でご提供していること。また、今の人材採用難を見越した上で、専門技術者のいない現場でもおいしい料理を安定して配膳できる仕組みを構築してきたことだ。

創業時には、民間業者では初めて、病院外のセントラルキッチンから患者給食を配送した。現在では、そのノウハウを活かした「アル

ス・ケータリングシステム」を開発、栄養バランスを工夫した献立とオリジナルの加工食品を全国の高齢者住宅にお届けするサービスを実施して好評を得ている。

さらに、イベントや行事食などにも対応でき、「こんなことをやってあげたい」「あんなメニューだったら喜んでくれそう」といったお客様一人ひとりの多彩なご要望を実現させている。

世の中がどう変わっていくことも、大切なのは、おいしい食事を囲んで気の合う仲間と交わす楽しいおしゃべり。「当社の給食でそんな心弾む明るい食卓「ハッピーダイニング」をより自然に演出し、これからは全力でサポートし続けた」と梅本社長は語る。

アルス・ケータリングシステム **Happy Dining**
小規模高齢者施設の **食事ソリューション**

サービス付高齢者住宅、ケアハウス、グループホーム、デイサービスなど、小規模高齢者施設向けに食事ソリューションをお届けします。

こんなニーズにお応えします!

- 調理師が煮まらな
- 献立を作るのが煩わしい
- 衛生面に手が回らない

そんなお悩みにアルス・ケータリングシステムがお応えします

「ハッピーダイニング」を合言葉に、さまざまな食卓のニーズにお応えする



ひなまつりやバイキングなど、季節に合わせた行事食やイベントもサポート

「るるぶ情報版」「時刻表」、 JTB出版物の広告でおなじみ 信頼と実績の84年

元裕社

元裕社(中央区日本橋大伝馬町、筑井信博社長、03・5623・6811、<http://www.genyusha.co.jp>)は、「るるぶ情報版」「時刻表」をはじめとする、JTB出版物の広告を取扱う広告代理業として昭和6年に創業した。

永年にわたるJTB出版事業局(現・JTBパブリッシング)のパートナーとしての実績を活かし、ホテル・旅館・ペンション・民宿など全国の観光地の宿泊施設関連のクライアントから絶大な信頼と高い評価をいただいている。

きめ細かいセールス活動により、クライアントとの心のこもったコミュニケーションを心がけ、(株)JTBパブリッシングをはじめ、(株)昭文社、びあ(株)、講談社、スターツ出版(株)、(株)旅行読売出版社、(株)山と溪谷社、(株)実業之日本社、(株)舵社などから編集業務を委託されて、編集プロダクションとしての業務も行ってきた。

平成23年より(株)サンリオと提携し、伊豆・日光那須・箱根・富士山・群馬エリアでフリーペーパー事業「Hello Travel」を展開している。この事業を手がけたことで、より一層地域密着型の営業スタイルを確立することになった。今後は、ハローキティをメインキャラクターに採用した教育機関向けフリーペーパー(生徒募集および学校告知)や商業施設PR誌の販売強化に力を入れていく。

また、同23年にはiPhoneをはじめスマートフォンアプリの企画広告もスタートさせた。「紙媒体だけでなく時代背景に合わせたデジタル媒体も開発していきたい」と筑井社長の展望は広がる。

皆様の業務のお役に立てるよう、よりよいご提案をさせていただきますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

平成23年より(株)サンリオと提携し、伊豆・日光那須・箱根・富士山・群馬エリアでフリーペーパー事業「Hello Travel」を展開



同社が取扱ってきた旅行関連の出版物の数々

うめナビ 送付先業種												合計 270先
	商社 8先	スーパー・小売・百貨店 31先	メーカー 15先	マスコミ・出版 33先	教育(大学・専門学校) 30先	官公庁 26先	ホテル 10先	金融 50先	建設・不動産 14先	システム関連 9先	その他 44先	

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

コスト削減と安心の保守体制で印刷環境をサポート 日本最大級のトナー・インク専門店 「トナー246.com」

スプレッド

田利純社長は、1990年代半ばよりOA機器の販売会社に従事し、システム開発会社を経て、平成19年4月にスプレッド(横浜市都筑区中川中央、045・620・2628、<http://www.toner246.com>)を起業した。インターネットの可能性に魅せられ、これまでのキャリアを活かして開設したトナー・インク専門のショッピングサイト『トナー246.com』は、今年で10周年を迎える。



昨年のネットショップ大賞受賞式に出席した田利純社長

純正や汎用、リサイクルなど、お客様のニーズに合わせて取揃えた商品数は、日本でも最大級を誇る。「純正以外の商品を使用すると何かあったときに修理をしてもらえないのでは」といったお客様の不安を払拭すべく、いち早く機器の保守メンテナンス体制を確立し、官公庁、医療、教育、金融、保険な

ど、幅広い分野に商品をお卸している。

平成24年から4年連続でネットショップ大賞を受賞、平成27年には、大手検索サイト・グーグル社の認定ショッププログラムにおいて優良ショップに認定されるなど、その信頼性は高い。

OAサプライのみにとどまらず、現在では各種メーカーのプリンター販売や機器のクリーニングサービスに注力し、さらなるシェアの拡大を図っている。「ネットショップでありながら、ネット上には掲載できないような驚き価格の商品などもご用意していますので、一度お問い合わせください」と田利社長。一攫千金を狙い、同様のネットショップが雨後の筍のごとく出ては消えていく中、揺るぎないそのスタンスは、他とは一線を画す。

最近では、異業種交流の場にも足繁く訪れ、お客様、取引先、社員、地域にとってより必要とされる会社づくり、経営のあり方を探求している。

10年存続する企業は僅か5、6%とも言われる業界で、常に先を見つめ、チャレンジし続ける同社の今後に期待が寄せられる。



トナー、インク、プリンターなど、7000点にのぼる商品を取揃える

家具工場やプレカット工場から出る木材片も積極的に利用 シンプルでユーモアのある 木製雑貨ブランド「SAUCE」

drawers

上質なソースのような旨味を添えることで、何気ない日常生活がほんの少し心地よく変化してゆく。そんな想いから名付けられた「SAUCE」(<http://www.sauce-shop.jp/>)は、横浜市港北区綱島東、鈴木大輔社長、045・717・5853が昨年6月に立ち上げた木製家具、雑貨ブランドである。

「人々を嬉しくするモノづくり」をコンセプトに掲げる同社は、横浜市に特注家具工房「相談家具屋」(<http://www.soudankaguya.com/>)、逗子市に体験型木工施設「WOODWORK CENTER」(<http://www.soudankaguya.com/www/>)を運営し、木工技術と柔軟な発想でさまざまなモノづくりを展開している。

鈴木社長が特注家具職人として独立した際の「ご相談に乗りながら、お客様自身も気付かなかつた本当の要望を発見し、提案し、具現化してゆく家具屋になる」と



教会に納品した木製のシャンデリア



ブックスタンド「Book Block」



見えないスピーカー「iPhone stick speaker」

天然木の魅力に直接触れて親しめるオリジナルブランド「SAUCE」

いう意志を今も貫き、教会に納品された木製のシャンデリアなど、家具の範疇を超えた依頼にも積極的に応えている。一方、体験型木工施設は、現在約130名の生徒が在籍する本格木工教室が盛況である。

「SAUCE」は、今年6月の展示会に向けて急ピッチで商品開発を進めている。ギフト商品を中心とした、シンプルでユーモアあふれるデザイン。また、森林資源を扱う企業の社会貢献として、木造住宅材の余りを利用したブックスタンド「Book Block」など売上金の一部を森林教育事業を行うNPO法人に寄付するといった活動を行っている。4月からSAUCEウェブショップにて、限定品含めラインナップを増やす予定だ。

社長は「ただ作るだけではなく、これからは売れる作り手になる必要がある、本当に良いモノを誠実に作り出し、必要としてくれるお客様に確実に買っていただき、皆が笑顔になれるモノづくりを続けていきたい」と語ってくれた。

設計・製作・取付・配線工事まで 自社で一貫して請負う 制御盤のスペシャリスト

協映電機

協映電機(川崎市多摩区長沢、緒方照雄社長、044・977・8410)は、昭和36年に映写機用の電源を製作して以来、永年にわたり、光源用電源および温度制御盤、駆動操作盤の製作に携わってきた。大気電気炉から雰囲気電気炉における温度制御盤、駆動操作盤、ガス供給装置盤および酸素分析装置盤まで多岐にわたり製作を手がけている。特に温度制御盤は、自社開発のサイリスタ電力調整ユ

ニットを使用し、ハイレベルの技術を応用してコンパクトな製品に仕上げる事が可能だ。設計から製作、取付、配線工事まで自社で一貫して請負う。打合せから技術者が関わり、お客様のニーズに的確にお応えすることで、個々の依頼によりカスタマイズされた製品をご提供することが出来る。お客様の手間の省略、納期の短縮さらに高品質の製品に直結する体制を整え、スムーズな受注活動を進めている。

工業計器も、(株)チノノ、アズビル(株)、横河電機(株)、大倉電気(株)その他の計測機器メーカーに対応している。光源用電源もキセノンランプ用、超高压水銀ランプ用、メタルハライドランプ用のバラストおよびスターターを各種製作している。

永年培ってきたノウハウをベースに最新技術を採用入れた設計を追求し、さらに信頼の厚い製品をご提供しているよう邁進する。



サイリスタ電力制御盤



カーボン焼成用高温雰囲気炉



キセノンランプ用バラスト



人口太陽照明炉用電源

圧力・真空制御のプロフェッショナル 航空機や新幹線にも 使用されている優良品質！

三和電機製作所

三和電機製作所(大田区中馬
込、林武宏社長、03・3772・
6111、<http://www.sanwa-hs.co.jp>)は、圧力、真空制御スイッチ
およびセンサーの専門メーカーと
して、品質の改良はもとより、ユー
ザーの用途に合わせた適応機種
の開発や生産の合理化を行って
いる。

昭和28年の創業以来、圧力・真空
の自動計測・制御の専門メーカー
として永年にわたり蓄積された経
験とノウハウのもと、構成部品の
金属加工から出荷まで社内で一貫
生産できる体制をつくっている。
新幹線をはじめとした鉄道車両の
ブレーキ、クッション関係部品、建
設機械の油圧系統、工作機械の潤
滑油系統、水処理
関連による圧力
スイッチなど業
界を問わずあら
ゆる用途に対応
できる同社製品
は、幅広い分野で
使用されている。

標準品はもとよ
り、特殊品も数多
く用意しており、
小ロットからで
も要望に応じな
がらオーダーメ
イドで製造可能
だ。
代表的な製品
として、ロングセ
ラーである真空
スイッチを紹



同社の高い技術力が窺える製品の数々

紹介したい。一般真空回路はもちろ
ん、真空包装・真空吸着装置など
の到達または破壊真空度の検出が
可能な製品である。単層層投接点
を備え、設定真空圧力の上限、下限
において同時にON・OFFの2
点制御信号が得られ必要に応じ設
定圧力値の変更ができるという真
空自動制御スイッチだ。電気的開
閉機構は鋭敏なスナップアクション
機構により開閉の信頼性を確保
し、シンプルな設計で累積誤差の
少ない極めて動作感度の高い構造
となっており、精度や耐久性の高
さを要求される圧力制御の検出端
として最適な製品である。圧力使
用は数多くの設定を保有している
ため、ぜひお問い合わせください。

メディアのロケ撮影から各種送迎、個人のレジャーまで 貸切車輛や備品は ロケバスのグループにお任せ！

グループ

平成15年に創業したグルーヴ(目
黒区碑文谷、佐藤貴陽代表取締役
03・6662・5333、<http://www.groove.cc>)は、テレビCM
など撮影現場への各種ロケ車輛の
手配から、制作経験を持つスタッ
フによるロケーションコーディネート
ネットまで、撮影に関わるさまざ
まなプロダクション業務をトータ
ルにサポートしている。また、ロケ
撮影以外にも、空港送迎やイベン
ト・パーティー会場の送迎、合宿
やゴルフコンペなどの送迎、個人
旅行での車輛貸切なども行ってい
る。



豊富な所有車輛で、お客様のご要望に対応

近年では、台湾にもグループ会



春の行楽シーズンに役立つレジャー備品

社(グルーヴ台湾)を展開し、中華
圏からのインバウンドおよびアウ
トバウンドにも積極的に取組んで
いる。新たに中国語でのお問合せ
にも対応できるよう専用ダイヤル
にてサポートを開始したほか、来
日旅行者の増加も視野に入れ、「ハ
イヤー」の事業認可も取得するな
ど、業務内容の多角化を進めてい
る。

さらに、グループ会社として、備
品レンタル会社である碑文谷レン
タル(03・5701・4400、
<http://www.himoren.com>)を設
立、撮影関連機材やロケ備品の貸
出を行うとともに、ロケに関する
お客様からのご相談にも柔軟に対
応できる体制を整えている。業務
用だけではなく、テントやテーブ
ル、椅子、BQセットといった一
般向けレジャー備品のレンタルも
各種取扱っている。
行楽シーズン本番！貸切車輛の
ご用命やレジャー備品のレンタル
など、皆様まずは当社までお気軽
にご相談ください。

取扱うネジは15万種類以上！ パラリンピックの競技用車椅子など 多彩な場面で活躍する、ネジのプロ

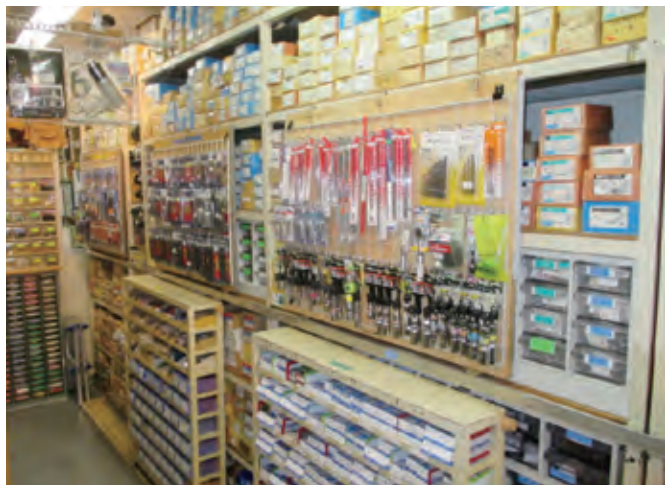
ネジの永井



昭和44年設立のネジの永井(世田
谷区上馬、永井耕太郎社長、03・
3424・0626)は、環七通り
沿いに店を構え、ネジ販売の他に
各種工具や日曜大工品を取扱って
いる。

現在、取扱商品だけではお客様
のニーズにまだ完全には対応で
きていないため、今後は積極的に
自社オリジナルのネジの開発を行
い、お客様の求める最適なネジを
ご提供できるよう取組んでいく。
1本からでも販売しておりま
す。ネジのことでお悩みならどん
なことでもお尋ねください。

建築現場などの業務用に加え、
バイクや自転車など個人が使用
するネジも取扱っており、法人の
みならず個人客も増えている。取
扱うネジは15万種類を超える。ネ
ジ1本といっても、ステンレスや
チタン、アルミなど素
材は多様で、サイズもミ
リからインチまで各種
異なり、さらにアタマの
形状もさまざまである
ことから、用途によつて
最適なネジは変わって
くる。実際、来店される
お客様のニーズはそれ
ぞれ違い、求めているネ
ジも千差万別。それに対
して、15万種類の中から
最適なネジをご提案す
ることが可能であり、対
応しきれない場合も、サ
イズや用途などを細か
くお伺いして、フルオー



天井までびっしりとネジ製品が並ぶ店内

エグゼクティブに愛され続ける逸品 ジャパンメイドを採り入れた 品格ある風合いと着心地

銀座 英國屋



も提案している日本のブランドだ。最近では、「日本のものづくりの素晴らしさを伝えよう」と、ジャパンメイドの製品にも力を入れている。

銀座英國屋(中央区銀座、小林英毅社長、03・6280・1523、<http://www.eikokuya.co.jp>)は昭和15年に創業し、歴代首相や多くの財界人をはじめ、世界で活躍するエグゼクティブの方々に愛され続けてきた。採寸から型紙を起し、仮縫いという手法を用いて裁縫される本格オーダースーツ専門店である。

そのひとつに『漆・ブラック』がある。黒一色の礼装が並ぶセレモニーシーンでは、漆黒の深さが一目瞭然に判る。同社はより艶やかで深みのある黒を求めて、愛知県尾州に辿りついた。毛織物の老舗とコラボし、極みの色はもちろん、正座をする場面もある日本文化に合わせたストレッチ加工が好評だ。

「英國」という社名から「イギリス」や「クラシカルなスタイル」をイメージされやすいが、実はイタリアの生地も多数揃え、時代に合わせたスタイリッシュなデザイン

もうひとつは『西陣ネクタイ』。京都の雅をテーマにしたハンドメイドの美しいネクタイである。祝いの吉祥文様はお守りとして襟元で結ぶと縁起も良く、多くのお客様が手にとられる逸品であり、贈り物としても好適品となっている。



セレモニーシーンに映える英國屋の礼装



ジャパンメイドを活かした『西陣ネクタイ』

また、ホームページのオンライン販売から購入できるギフトカードは、ご贈答のツールとしても大変便利だ。今後さまざまな分野のジャパンメイドを採り入れ、さらに進化を続ける同社には、日本の魅力を再発見していく期待が大いに寄せられている。

工事現場や停電時のご自宅など 同社開発の各種LED照明・電子機器が 安全性と作業効率をUP!

アドバンスクリエート

アドバンスクリエート(品川区南品川、佐藤秀樹社長、03・5715・4030、<http://www.adcr.co.jp>)は、主に工事現場で使用される照明、バッテリー電源装置、表示用掲示板などの開発・製造・販売を行っている。

LEDを使用した大型照明、直管タイプや白熱電球の10分の1以下の消費電力で2倍以上の照度を持つコーン用照明など工事現場用照明のみならず、停電を自動的に検知して点灯し、防災に寄与する家庭用のLED電球を開発して特許を取得、「メイドイン品川」のブ



平成28年度「メイドイン品川」の認定を受けた「停電時自動点灯LED電球」



バッテリー電源装置



夜間工事の安全を守る表示用掲示板

ランド製品にも認定されている。バッテリー電源装置は、火災・爆発の危険性や騒音、排気ガスなどの問題の多いエンジン式の発電機に対し、安全・無臭・無音という特長を持つ。同社は小型・軽量の小規模電源装置から、大容量のバッテリーとインバーターを搭載した中型電源装置までを出荷している。バッテリー搭載機器において非常に重要な電池セル間のバランスをとる技術も所有しているため、多様な電池に対応が可能である。

また、LEDの大型ドットマトリックスユニットにより、夜間工事で掲示板の表示内容が明瞭に見えるシステムを出荷している。遠隔地から表示内容を変更したり、搭載されているカメラにより工事現場および付近の道路状況などをリアルタイムで監視できる機能も備え、既に首都高速道路の工事現場で使用され、工事中の事故防止に寄与している。

今後、時流である省エネと安全性および作業効率を向上する製品を、単純な請負業務ではなく、製品企画の段階からクライアントと一体となって、電子回路、機構設計やソフト開発まで一貫して取り組み、世に送り出していく。

アルミ・ステンレス・スチール・ブロンズ： さまざまな金属から、 お客様のイメージを形として残す

M.P.S.



平成27年12月に完成した新社屋

M.P.S.(藤沢市遠藤、蓑田邦将社長、0466216936、<http://www.mps2005.com>)は、平成17年12月に設立され、スチール・ステンレス・アルミ・銅・真鍮・コイル・テン鋼・ホロー鋼板などの建築金物の設計、製作、施工を営んでいる。

一言で建築金物といっても、同社の手がける製品はアルミ手摺、ステンレス手摺、ガラス手摺、アルミ庇、アルミ庇パネル、有孔折板(ゆうこうせつぱん)、木製ルーバーなど多岐にわたる。営業部、設計部、製造部、工事部と社内にて一貫した製造工程を整え、ワンストップで確実な意思伝達と短納期の対応により、多様な顧客ニーズに応え続けている。

10周年を迎えた平成27年12月、藤沢市遠藤に本社新社屋を完成させた。「新社屋は弊社の



同社の高い技術力を体感いただける自社製ディスプレイと製品サンプル

「日本のモノ造りの技術力をも一度原点に立ち返らせ、さらに新しい技術への挑戦により、世界へ発信し、そして未来へつなげていきたい」と、蓑田社長の想いは尽きない。

「ショールーム」と蓑田社長が語る通り、外観はもちろん、内部の至る箇所から同社の建築金物の技術力の高さを窺い知ることができる。また、森林事業も手がけており、地球温暖化対策として、熊本県に社有地、借地を併せた80haの森林を育成することで、子どもたちの未来のために温室効果ガスの削減に取り組んでいる。一見本業とは無縁そうでも、「常に挑戦し続け、新たなモノを生み出し技術の確立をする」という同社の経営理念と深く関係しており、新しいモノ造り、技術を確立していくには、未来へ責任を持つこと、環境保全活動の継続は不可欠である。